

第3話 散文の物語

飢饉になり千歳まで 魚とりに行った タンネサルの親子

収 録 日：1995 年 09 月 09 日

資料番号：35226A

添付 CD：5-3（13 分 3 秒）

第3話 散文の物語「飢饉になり千歳まで魚とりに行ったタンネサルの親子」¹

(タンネサルの男が語る)

タンネサルン クル アネ ヒネ アナン ヒケ
 tannesar un kur a=ne hine an=an hike
 タンネサル の 人 (私)であつて いる(私) したが

私はタンネサル²に住む者です。

アコタヌ ケムシ カ エラミシカリ ノ
 a=kotanu kemus ka eramiskari no
 (私)の村 飢饉 も 経験がな く

私の村では飢饉も知らずに

オカアン ワ… ペ ネ ア プ
 oka=an wa... pe ne a p
 暮らす(私) して もの だっ た が

暮らしていたのですが

マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ ワ
 mak ne wa ne ya a=kotanu kemus wa
 どう し て だ か (私)の村 飢饉になつて

どうしたことか飢饉になり

- 5 エアラキンネ ヤイウエンヌカラアン コロ
 earkinne yaywennukar=an kor
 本当に 苦しむ(私) ながら

本当に苦しんで

オカアン ペ ネ ア プ
 oka=an pe ne a p
 いる(私達) もの だっ た が

いました。

ラポッケ パハウ ネ ハワシ ハウエ エネ アニ。
 rapokke pahaw ne hawas hawe ene an _hi. 噂では
 そのうちに 噂 で 言う こと こうだった

シコトウン チェプ アスル アシ ヒ
 sikot³ un cep asur as hi
 千歳 の 魚 評判 立つ こと

千歳川の魚が評判だと

アヌ コロ アナン ペ ネ ヒケ
 a=nu kor an=an pe ne hike
 (私)聞いて いる(私) もの だ が

聞いていましたが

- 10 オラ タネ トウイマノ アトウラ ヤツカ
 ora tane tuymano a=tura yakka
 こんど もう 遠くに (私)連れて も

もう遠くに連れて行っても

1 調査年月日は1995年9月9日。アイヌ民族博物館救護室においてこの翌日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」の準備として行われた調査。調査者は千葉大学中川裕氏、安田千夏。この話について上田トシ氏は「ワテケ（鳩沢ふじの）さんが語った話で、本に出ていた」と説明しているが、ほぼ同じ話は田村すず子編著『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』所収「私はタンネサルに住む者です（振内の長者が平取の占者に救われた話）」（話者：二谷国松）（pp.2-9）にある。ワテケ氏もアイヌ語音声資料シリーズに多くの話が採録されており、トシ氏はこのシリーズの本とカセットテープで熱心に勉強をしていたため、つい「ワテケさん」と言ってしまったのだろう。また北海道アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』の資料番号CC800082で上田トシ氏による同話の別録音が公開されている。

2 現沙流郡平取町振内町にあった地名。沙流川中流域に位置する。原義はタンネ tanne（長い）・サラ sar（ヨシ原）。この話に出て来る地名は全て実在の地名であり、架空の地名は出て来ない。

3 千歳市の原地名。支笏湖にその名をとどめる。

アプカシ エニタン パクノ アン
 apkas enitan pakno an
 歩く 早い くらい ある

早く歩けるくらいの

ヘカチ アコロ ペ ネ ヒケ オラ
 hekaci a=kor pe ne hike ora
 男の子 (私)持つ もの だ が こんど

息子がいるので

ネ ヘカチ アトゥラ カネ ヒネ
 ne hekaci a=tura kane hine
 その 男の子 (私)連れ も して

その息子を連れて

シコツ コパクン アコロ ヘカチ トウラノ
 sikot kopak un a=kor hekaci turano
 千歳 の方 に (私)の 男の子 と一緒に

千歳を目指して

15 アラキアン ルウェ ネ アクス
 arki=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だっ たところ

出かけて行きました。

ムカ⁴ タ アラパ… パイエアン アクス
 muka ta arpa... paye=an akusu
 鵜川 に 行く 行く(私) したところ

鵜川に着くと

ペツ クシ ウタラ オカ ヒネ
 pet kus utar oka hine
 川 を通す 人達 い て

渡し守がいました。

オロ タ ホトウイパアン ルウェ ネ アクス
 oro ta hotuyipa=an ruwe ne akusu
 そこ で 呼ぶ(私) こと だっ たところ

呼ぶと

オツカヨ エキネ
 okkayo ek_hine
 男 来 て

男性が出て来たので

20 イクサ ヒネ ヤパニネ オラ
 ikusa hine yap=an _hine ora
 川を渡し て 上陸する(私達) して こんど

川を渡してもらい

シコツ タ パイエアン ルウェ ネ イネ
 sikot ta paye=an ruwe ne _hine
 千歳 に 行く(私) こと であって

千歳へ行きました。

オラ ポロンノ ネ チェプ ニエシケネ
 ora poronno ne cep niesikene
 こんど たくさん その 魚 しょいこで荷にすること

たくさんの魚をしょいこで背負って

アキ ヒネ オラ ホシピアン ヒネ
 a=ki hine ora hosipi=an hine
 (私)し て こんど 帰る(私) して

帰り

4 沙流川の西側を流れる鵜川のアイヌ語名。千歳に行くにはこの川を渡らなければならない。

- ムカ タ スイ エカン ヒネ
muka ta suy ek=an hine
鵜川 に また 来る(私) して
また鵜川に来て
- 25 ホトウイパアン ルウェ ネ アクス
hotuypa=an ruwe ne akusu
呼ぶ(私) こと だっ たところ
渡し守を呼んだところ
- オッカヨ ソイエネ カ ソモ キ ノ
okkayo soyene ka somo ki no
男 外に出る も しない で
男性は外に出て来ず
- メノコ ソイエネ ヒネ エキネ
menoko soyene hine ek _hine
女 外に出 て 来 て
女性が出て来て
- イクサ ヒ クス
ikusa hi kusu
川を渡す ので
川を渡してくれました。
- チプ オンナイ タ ネ コロカ
cip onnay ta ne korka
舟 の中 で だ けれど
舟の中ではありましたが
- 30 “マク ネ ヒネ エネ エプイネ
“mak ne hine ene e=puyne
どう し て こう (お前)ひとりで
「どうして
- ホトウイパアン ヤツカ
hotuypa=an yakka
呼ぶ(私) しても
私が呼んでも
- オッカヨ ソイエネ ソモ キ ノ
okkayo soyene somo ki no
男 外に出る しない で
男性が出て来ずに
- メノコ エキネ イクサ シリ ネ ヤ”
menoko ek _hine ikusa siri ne ya”
女 来 て 川を渡す 様子 です か
女性が出て来て渡してくれるのですか」
- セコロ アコウウェペケンヌ アクス
sekor a=kouwepekennu akusu
と (私)尋ね たところ
と尋ねたところ
- 35 オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った
女性はこのように言いました。
- “ウ克蘭 ネ タネ シリクンネ コロ
“ukuran ne tane sirkunne kor
昨夜 に もう 暗くなる と
「昨夜もう暗くなってから
- ホトウイパ ハウ アシ イ クス…
hotuypa haw as _hi kusu…
呼ぶ 声 する ので
呼ぶ声がしたので

ヒネ アホクフ ソイネ ヒネ… ア プ
 hine a=hokuhu soyne hine... a p
 して (私の)夫 外に出 て だったが

夫が外に出たところ

オラノ アフン ルウェ カ イサム。
 orano ahun ruwe ka isam.
 そして 入る こと も ない

それきり家に帰って来ませんでした。

40 ラポツケ ペトルン ネプ カ
 rapokke pet or un nep ka
 そのうちに 川 の所 で 何 か

そのうちに川で何か

ペツ フム ペチャペチャク⁵ フム アシ クス
 pet hum pecapecak hum as kusu
 川 音 水がはねる 音 する ので

川の方で水音がしたので

ナニ ポロ タトウシペ アウフイカ テク ヒネ
 nani poro tatuspe a=uhuyka tek hine
 すぐ 大きい 松明 (私)燃やす さっと して

すぐに大きな松明をつけて

ソイネアン ヒネ インカラアン ルウェ ネ アクス
 soyne=an hine inkar=an ruwe ne akusu
 外に出る(私) して 見る(私) こと だっ たところ

外に出て見たところ

チプ モン マ サン ヒ クス
 cip mom _wa san hi kusu
 舟 流れ て 下る ので

舟が川を流れ下っていたのです。

45 ネ チプ エトコ アトウシマク クス
 ne cip etoko a=tusmak kusu
 その 舟 の前 (私)先回りする ために

その舟に先回りをしようとして

パサン イネ ペツ ペシ サナン ヒネ
 pas=an _hine pet pes san=an hine
 走る(私) して 川 沿いに 下る(私) して

走って川を下り

ネ チプ アキシマ ルウェ ネ アクス
 ne cip a=kisma ruwe ne akusu
 その 舟 (私)つかむ こと だっ たところ

舟をつかんだところ

ネ チプ オンナイ タ アホクフ
 ne cip onnay ta a=hokuhu
 その 舟 の中 で (私の)夫

その舟の中で夫が

オアラ ヤイランペウテク イネ アン ヒネ オラ
 oar yayrampewtek _hine an hine ora
 全く 正気を失っ て い て こんど

正気を失っていたのです。

50 アカラ イネ アニンパニンパ ヒネ
 a=kar _hine a=ninpaninpa hine
 (私)し て (私)ひきずっ て

引きずって

5 pecha-pecha 尾を動かして水を切って行く音 (Karepia 説) [久 666]。

アウニ タ パイエアン イネ アホッケレ ア プ
 a=uni ta paye=an _hine a=hotkere a p
 (私の)家 に 行く(私) して (私)寝かせ た が

私達の家に戻って寝かせたのですが

オラ ナニ ネノ オアラ ヤイランペウテク ワ
 ora nani neno oar yayrampewtek wa
 こんど すぐ このように 全く 正気を失っ て

このように正気を失って

アン ワ エネネ ヒ カ イサム ルウェ ネ”
 an wa enene hi ka isam ruwe ne”
 い て どうする こと も ない の です

いるのでどうしようもないのです」

セコン ネ メノコ ハウエアン。
 sekor_ ne menoko hawean.
 と その 女 言う

とその女性が言いました。

55 エアラキンネ アケムヌ
 earkinne a=kemnu
 本当に (私)かわいそうに思う

本当にかわいそうで

ソモ ネ ヤッカ シリキラツパ ルウェ
 somo ne yakka sirkirappa ruwe
 ではない も 苦勞する 様子

ただでさえ貧しい様子を

アヌカリ タ
 a=nukar _hi ta
 (私)を見る 時 に

見て

タクピ ネ ヤッカ アケムヌ ア プ
 takupi ne yakka a=kemnu a p
 それだけ で も (私)かわいそうだった が

気の毒に

セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 sekor yaynu=an hi kusu
 と 思う(私) ので

思っていたので

60 “ヤクン アエポタラ ヤッカ ピリカ ヤ?”
 “yakun a=epotara yakka pirka ya?”
 ならば (私)まじないして も いい か

「それなら私がまじないをしてもいいですか？」

セコロ アコピシ アクス
 sekor a=kopisi akusu
 と (私)尋ね たところ

と言うと

ヤクン ポヘネ ピリカ セコン
 yakun pohene pirka sekor_
 ならば 一層 いい と

それは嬉しいと

ネ メノコ ハウエアン ヒ クス オラ
 ne menoko hawean hi kusu ora
 その 女 言う ので こんど

その女性が言いました。

ネ… アフナン ヒネ
 ne... ahun=an hine
 入る(私達) して

家に入って

65 ネ ヤイランペウテクアン イホクネクル
 ne yayrampewtek=an ihoknekur
 その 正気を失う(人) 夫である人

その正気を失っている夫に

アノンノイタク コロ
 a=nonnoitak kor
 (私)祈る と

祈って

カシ アキク ネ ヤ キ アクス
 kasi a=kik ne ya ki akusu
 上を (私)叩く だ とか し たところ

お祓いをしたりしていると

ラポッケ ヤイラムアン ルウェ ネ ヒネ
 rapokke yayramuan ruwe ne hine
 そのうちに 正気を取り戻す こと であって

そのうちに意識が戻りました。

オラ エアラキンネ ヤイラムアン アクス
 ora earkinne yayramuan akusu
 こんど 本当に 正気に戻っ たところ

そして

70 オラノ イコヤイライケ イ イエ ア イエ ア
 orano i=koyayrayke _hi ye a ye a
 そして (私)に感謝する こと 何度も言う

私に感謝の言葉を何度も言いました。

“アコン ニシパ⁶ アン クシケライポ
 “a=kor_ nispa an kuskeraypo
 (私)の 旦那さん いた おかげで

「旦那さんがいてくださったおかげで

イポタラ ワ ヤイラムアン”
 i=potara wa yayramuan”
 (私に)まじまいし て 正気に戻る

おまじないで正気に戻りました」

セコロ ハウエアン コロ オラ
 sekor hawean kor ora
 と 言い ながら こんど

と言い

ネプ カ サクパ ルウェ アケムヌ ア プ
 nep ka sakpa ruwe a=kemnu a p
 何 も ない こと (私)気の毒に思っ た のに

もののない様子が気の毒だったのに

75 シネ オサムシペ⁷
 sine osamuspe
 ひとつ 壁掛け太刀

ひと振りの壁掛け太刀が

シネプ タクプ アン ルウェ アヌカラ ア プ
 sinep takup an ruwe a=nukar a p
 ひとつ だけ ある こと (私)見 た が

唯一あるのに気がついてはいましたが

ネ ワ アン ペ サンケ ヒネ イコレ
 ne wa an pe sanke hine i=kore
 そう して ある もの 出し て (私に)くれる

それを私にくれようと思いました。

6 よその旦那さんに対しても親しみをこめて「アコン ニシパ a=kor_ nispa (私の旦那さん)」と呼ぶことがある。

7 前掲書ではソサモツペ sosamotpe とある。この話では以下ソサムシペ sosamuspe として出て来る。

コロカ アケムヌ
korka a=kemnu

けれど (私)かわいそうに思う

しかしかわいそうで

エネ イシラムネパ⁸ ルウエ オカイ ペ
ene isramnepa ruwe okay pe
こう 貧しい人達である こと ある のに

こんなに貧しい人たちののに

80 セコロ ヤイヌアニ クス
sekor yaynu=an _hi kusu
と 思う(私) ので

と思ったので

アウク ヒ カ アココパン ヒネ
a=uk hi ka a=kokopan hine
(私)取る ことも (私)拒ん で

申し出を断って

アウク カ ソモ キ ノ
a=uk ka somo ki no
(私)取る も しない で

受け取らずに

オラ アコロ ソン… ヘカチ トウラノ
ora a=kor son... hekaci turano
こんど (私)の 息子 男の子 と一緒に

息子と一緒に

ホシピアン イネ アラキアン ヒネ
hosipi=an _hine arki=an hine
帰る(私) して 来る(私) して

帰って来ました。

85 タネ ペトブツ タ
tane pet oput ta
もう 川 の河口 に

そしてもう

サラ プトウ コパッケ ウン アラキアン アクス
sar putu kopakke un arki=an akusu
沙流川 の河口 の方 に 行く(私) したところ

沙流川の河口の方にさしかかるという時に

オラ ラポッケ アコロ ソン ヤイランペウテク。
ora rapokke a=kor son yayrampewtek.
こんど そのうちに (私)の 息子 正気を失う

今度は息子が正気を失いました。

オラ ネン アカラ カシ アキク ネ ヤ
ora nen a=kar kasi a=kik ne ya
こんど どう (私)する 上を (私)叩く だ とか

どんなにお祓いや

ネウン アカラ ヤツカ
neun a=kar yakka
どう (私)する しても

何をしても

90 ヤイランペウテク ワ オラノ
yayrampewtek wa orano
正気を失っ て そして

正気を失ったままで

8 イシラムネパ isram-ne-pa 貧しい人・である・[複数形]。言いよどんで、イシラムネ ワ… ネパ isramne wa... nepa と言っているが、この後110行目でイシラムネパの用例が現れる。

ネン ネン アカラ コロ アラキアン ヒネ
 nen nen a=kar kor arki=an hine
 いろ いろ (私)し ながら 来る(私) して

いろいろと手当をしつつ帰って来て

ラポッケ オラ ヤイヌアヌミ エネ アニ。
 rapokke ora yaynu=an _humi ene an _hi.
 そのうちに こんど 思う(私) こと このようだった

このように考えました。

“ピラトウツ タ⁹ ヌプル エカシ アン ヤク
 “piratur_ ta nupur ekasi an yak
 平取 に 霊力がある 老人 いる と

「平取に霊力があるおじいさんがいると

アイェ ヒ アヌ コロ アナン ア プ
 a=ye hi a=nu kor an=an a p
 (人)言う こと (私)聞いて いる(私) だった が

いうのを聞いていたので

95 ネンカネ ヌプル エカシ エウン パクノ
 nenkane nupur ekasi eun pakno
 どうかして 霊力がある 老人 のところ まで

何とかそのおじいさんのところまで

アシコパカインカラ”
 a=sikopakainkar”
 (私)見てもらう

行って見てもらおう」

クナク アラム コロ エカン アイネ
 kunak a=ramu kor ek=an ayne
 と (私)思い ながら 来る(私) うちに

とを考えて

ピラトウツ タ シレパアン ルウェ ネ ヒネ
 piratur_ ta sirepa=an ruwe ne hine
 平取 に 着く(私) こと であって

平取に着きました。

オラ タプネ ネ ヌプル エカシ オロ タ
 ora tapne ne nupur ekasi oro ta
 こんど この通り その 霊力がある 老人 の所 で

そして霊力があるおじいさんのところで

100 “タプネ カネ シリペアン クス
 “tapne kane siripe=an kusu
 このようなわけで 食糧調達に行く(私) ために

「このようなわけで食糧を求めて

シコツ タ パイエアン ワ エカン
 sikot ta paye=an wa ek=an
 千歳 に 行く(私) して 来る(私)

千歳に行く途中

ホントモ タ ムカワ タ エカン アクス
 hontomo ta mukawa ta ek=an akusu
 途中 に 鵜川 に 来る(私) したところ

鵜川にさしかかると

ペツ プンキネ オカ ウムレク オカ ヒネ
 pet punkine oka umurek oka hine
 川 を守って いる 夫婦 い て

渡し守の夫婦がいて

オロ タ アシクサレ ワ
oro ta a=sikusare wa
そこ で (私)川を渡してもらっ て

そこで川を渡して

105 イクサ ワ イコレ ア プ
i=kusa wa i=kore a p
(私を)渡して (私に)くれ た が

もらったのですが

オラ ホシピアン アクス
ora hosipi=an akusu
こんど 帰る(私) したところ

戻って来たら

ネ イホクネクル
ne ihoknekur
その 夫である人

その夫である人が

ヤイランペウテク ワ アン ルウェ
yayrampewtek wa an ruwe
正気を失っ て いる こと

正気を失っているのを

アヌカラ クス アエポタラ。
a=nukar kusu a=epotara.
(私)見る ので (私)まじないをする

見たのでまじないをしました。

110 イシラムネパ ルウェ アケムヌパ ヒ クス
isramnepa ruwe a=kemnupa hi kusu
貧しい人達である こと (私)衰れむ ので

貧しい夫婦が気の毒なので

アエポタラ ワ
a=epotara wa
(私)まじないをし て

私がまじないをして

ピリカ ヤイラムアン シリ アヌカラ カ キ ヒネ
pirka yayramuan siri a=nukar ka ki hine
良く 気がつく 様子 (私)見る も し て

正気になったのを見届けてから

エカン ルウェ ネ ア プ
ek=an ruwe ne a p
来る(私) こと だっ た が

帰って来たのですが

エネ エカン ホントム ワノ
ene ek=an hontom wano
このように 来る(私) 途中 から

このように途中で

115 アコロ ヘカチ エネ ヤイランペウテク ワ
a=kor hekaci ene yayrampewtek wa
(私)の 息子 このように 正気を失っ て

私の息子が正気を失ってしまったので

エカン ルウェ ネ ”
ek=an ruwe ne”
来る(私) こと です

やって来たのです」

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu
と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネア ヌプル エカシ エネ ハウエアニ。
 nea nupur ekasi ene hawean_hi.
 その 霊力が強い 老人 このように言った

そのおじいさんはこう言いました。

“ネン シリキラッパ ワ オカ ヤッカ
 “nen sirkirappa wa oka yakka
 どんなに 苦労し て い ても

「どんなに貧乏をしていても

120 オロ タ ネン カ ポタラアン ワ
 oro ta nen ka potara=an wa
 そこ で 何 か まじないし(私) て

そこでまじないをした

エエク ルウェ ネ ヤクン
 e=ek ruwe ne yakun
 (お前)来る こと だっ たら

というのなら

シリキラプ カネ
 sirkirap kane
 苦労をし ながら

貧乏をしながらでも

ソサムシペ ネ ヤッカ サンケ ワ
 sosamuspe ne yakka sanke wa
 壁掛けの太刀 で も 出し て

太刀を出して

エコレ ヒ ネ ヤクン
 e=kore hi ne yakun
 (お前に)くれる の ならば

あなたにくれたのなら

125 ネア ソサムシペ エウク ヤク ピリカ プ
 nea sosamuspe e=uk yak pirka p
 その 壁掛けの太刀 (お前)取ると いい のに

その太刀を受け取ったら良かったのだ。

エウク カ ソモ キ プ ネ クス
 e=uk ka somo ki p ne kusu
 (お前)取る も しない の だ から

受け取らなかったために

ウェン カムイ エカ ウン ワ クス
 wen kamuy e=ka un wa kusu
 悪い 神 (お前の)上 につい た からこそ

悪い神があなたに憑いたので

エコロ ヘカチ ヤイランペウテク シリ ネ ワ⁽¹⁰⁾
 e=kor hekaci yayrampewtek siri ne wa”
 (お前)の 息子 正気を失う よう だ よ

あなたの子供が気を失ったようだよ」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言いながら

130 アコロ ヘカチ カシキク ネ ヤ キ アクス
 a=kor hekaci kasikik ne ya ki akusu
 (私)の 息子 魔払い だ とか し たところ

息子にお祓いなどをしたところ

10 悪い神に祟られた症状が、憑いた本人ではなくその息子に現れたというのは、その場に居合わせた中で最も弱い人間に祟りが及ぶものであるというので、それを意味しているのだろう。

オロ タ アコロ ヘカチ カ ピリカ ヤイラムアン
oro ta a=kor hekaci ka pirka yayramuan
そこ で (私)の 息子 も 良く 正気を取り戻す

息子は正気を取り戻しました。

ルウェ ネ ヒネ オラ ネ エカシ
ruwe ne hine ora ne ekasi
こと で して こんど その 老人

それからそのおじいさんは

エネ ハウエアニ。
ene hawean _hi.
このように言った

こう言いました。

“ エシリペ クス
“ e=siripe kusu
(お前)食糧調達に行く ために

「あなたは食糧を求めて

135 シコツ タ エアラパ ルウェ ネ コロカ
sikot ta e=arpa ruwe ne korka
千歳 に (お前)行く の だ が

千歳に行ったのだけれど

イルシカ ペツ⁽¹¹⁾ エムツ コロ⁽¹²⁾
iruska pet emut kor
入鹿別 川 ?

怒り川
入鹿別は

パウチ カラ トウムンチ カラ
pawci kar tumunci kar
気狂い 作る 妖怪 作る

気狂いの妖怪が作った

ペツ ネ ワ アン ペ
pet ne wa an pe
川 であって ある もの

川なので

オロ タ アライケ チェプ アナクネ⁽¹³⁾ ネ ヤクン
oro ta a=rayke cep anakne ne yakun
そこ で (人)とる 魚 は で あれば

そこでとった魚ならば

140 エコロ ワ エアラパ ヤツカ エエ
e=kor wa e=arpa yakka e=e
(お前)持つ て (お前)行っ ても (お前)食べる

持って帰って食べるのは

ピリカ カ ソモ キ ナンコロ”
pirka ka somo ki nankor”
良く も ない だろう

良くないだろう”

セコロ ハウエア ン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言いました。

ネア アセ ワ エカン ア チェプ
nea a=se wa ek=an a cep
その (私)背負っ て 来る(私) した 魚

その背負って来た魚を

11 「入鹿別川」 鶴川市街の西部に実在する川。原意はイルシカ iruska (怒る)・ペツ pet (川)。

12 前掲書ではイルシカ ペツ エムコ ウン iruska pet emko un「怒り川の中流の」となっている箇所。

13 魚は千歳でとったものであり入鹿別川でとったわけではないが、そこで災いに遭遇したので魚も汚染されてしまったという意味だろう。

シネ チェブ エタイエ ヒネ
sine cep etaye hine
ひとつ 魚 引き抜い て

一尾取って

145 セタ エウン オスラ アクス
seta eun osura akusu
犬 に 投げ たところ

犬に投げて

ネ オスラ ア チェブ ネア セタ エ アクス
ne osura a cep nea seta e akusu
その 投げ た 魚 その 犬 食べ たところ

それを犬が食べると

ナニ オロ タ ネ セタ ライ ルウェ ネ アクス
nani oro ta ne seta ray ruwe ne akusu
すぐ そこ で その 犬 死ぬ こと だっ たところ

すぐにそこで死んでしまいました。

オラ ネ ヌプル エカシ エネ ハウエアニ。
ora ne nupur ekasi ene hawean _hi.
こんど その 霊力ある 老人 このように言った

そしてそのおじいさんはこう言いました。

“ タプ ネノ エセ ワ エエク チェブ
“ tap neno e=se wa e=ek cep
この ように (お前)背負っ て (お前)来る 魚

「このようにあなたが背負って来た魚を

150 セタ アエレ ワ
seta a=ere wa
犬 (私)食べさせて

犬に食べさせて

セタ ライ シリ エヌカラ ヤクン
seta ray siri e=nukar yakun
犬 死ぬ 様子 (お前)見る ならば

死んだのを見たのなら

ソンノ ネ クニ エラム ナンコロ”
sonno ne kuni e=ramu nankor”
本当 だ と (お前)思う だろう

本当だとわかっただろう」

セコロ ハウエアニ コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

そして

“ ネ カムナシ エムツ コロ
“ ne kamnasi emut kor
その 化け物 ?

「その化け物のいる

155 ペトロ ワ エセ ワ エエク ペ エセ ワ
pet oro wa e=se wa e=ek pe e=se wa
川 の所 から (お前)背負っ て (お前)来る もの (お前)背負っ て

川から背負って来たものを持ち

エアラパ エコタヌ タ エアラパ ワ
e=arpa e=kotanu ta e=arpa wa
(お前)行く (お前の)村 へ (お前)行っ て

あなたの村に行って

エウタリ エエレ ヤッカ
e=utari e=ere yakka
(お前の)村人 (お前)食べさせ ても

村人に食べさせても

エウタリ カ オピッタ ナニ ライ クス
e=utari ka opitta nani ray kusu
(お前の)村人 も みんな すぐ 死ぬ ので

みんな死んでしまうところで

ネ アン ペ
ne an pe
そう ある もの

あったのを

160 ピリカ ヒネ イヘコテ
pirka hine i=hekote
良く して (私に)立ち寄る

幸いにも私のところに

エヘノイエ クシケライボ
e=henoye kuskeraypo
(お前)立ち寄る おかげで

来たのだから

ネ チェプ カ オピッタ アウフイカ ”
ne cep ka opitta a=uhuyka ”
その 魚 も みんな (私)燃やす

その魚もみんな燃やそう」

セコロ ハウエアン コン
sekor hawean kor_
と 言い ながら

と言って

ネ チェプ アセ ワ エカン チェプ
ne cep a=se wa ek=an cep
その 魚 (私)背負っ て 来る(私) 魚

背負って来た魚を

165 オピッタ オロ タ
opitta oro ta
みんな そこ で

全部そこで

ネ ヌプル エカシ ウフイカ ヒネ
ne nupur ekasi uhuyka hine
その 霊力ある 老人 燃やし て

燃やしました。

オラ シネ セタ
ora sine seta
こんど 一匹 犬

そして一匹の犬

フレ セタ ポロ セタ アナ プ
hure seta poro seta an a p
赤い 犬 大きい 犬 い た が

赤い大きな犬がいましたが

ネア セタ トモウン イノンノイタク ヒネ
nea seta tomoun inonnoitak hine
その 犬 に向かって 祈っ て

その犬に祈りを捧げ

170 オラ ネ セタ ライケ¹⁴ ヒネ オラ
ora ne seta rayke hine ora
こんど その 犬 を殺し て こんど

殺して

14 昔は犬を食べることもあったが、この場合は祈ってから殺したということなので、飢饉の村を救う特別な力を持った存在と考えられてのことかも知れない。

ナニ リ ヒネ オラ ネ…
nani ri hine ora ne…
すぐ さばい て こんど

すぐにさばいて

“ タン フレ セタ カミヒ オピッタ
“ tan hure seta kamihi opitta
この 赤い 犬 の肉 みんな

「この赤犬の肉を

エセ ワ エアラパ
e=se wa e=arpa
(お前)背負っ て (お前)行く

あなたは

ポネヘ ウンノ エセ ワ エアラパ ワ
ponehe unno e=se wa e=arpa wa
骨 まで (お前)背負っ て (お前)行っ て

骨まで背負い

175 エコタヌ タ エコロ ワ エアラパ ワ ネ ヤクン
e=kotanu ta e=kor wa e=arpa wa ne yakun
(お前の)村 に (お前)持って (お前)行っ て だっ たら

村に持ち帰ったならば

オラ カミヒ アナクネ ナニ エスパ ワ
ora kamihi anakne nani e=supa wa
こんど 肉 は すぐに (お前)煮 て

肉はすぐに煮て料理をしなさい。

エコタヌ ウン ウタラ エタク ワ
e=kotanu un utar e=tak wa
(お前の)村 の 人達 (お前)呼ん で

村の人達を呼んで

アラキパ ウタラ アナクネ アラキパ ワ
arkipa utar anakne arkipa wa
来る 人達 は 来 て

来ることができる人は来て

エ ナンコロ。
e nankor.
食べ なさい

食べなさい。

180 アラキ コヤイクシ ウタラ アナクネ
arki koyaykus utar anakne
来る ことができない 人達 は

来るのが難しい人達には

ルリヒ ネ ヤッカ エコイヤニ ワ
rurihi ne yakka e=koyyani wa
汁 であっても (お前)あげ て

汁だけでもあげて

ルリヒ エニレ ヤク ピリカ。
rurihi e=nire yak pirka.
汁 (お前)すすらせる と いい

すすらせたらいい。

オラ タン ポネ
ora tan pone
こんど この 骨

そしてこの骨

セタ ポネ アナクネ エウフィカ ワ
seta pone anakne e=uhuyka wa
犬 骨 は (お前)燃やし て

犬の骨は燃やして

- 185 パシパシヒ ウンノ
 paspasihi unno
 燃えかす まて 燃えかすまで
- ネ トウムサクパ ケウオロサクパ ワ
 ne tumsakpa keworsakpa wa
 その 力のない 力を失っ て 力のなくなった
- イペエコツ アンキ オカ ウタラ キロウシ
 ipeekot anki oka utar kirousi
 餓死 しそうに なる 人達 腰 餓死しそうな人の腰に
- ネ ポネ エウフイカ パシパシヒ オピッタ
 ne pone e=uhuyka paspasihi opitta
 その 骨 (お前)燃やす 燃えかす みんな 骨を燃やした炭をみんな
- キロウシ エコタチ ネ ヤ キ ヤクン
 kirousi e=kotaci ne ya ki yakun
 腰 (お前)つける だ とか する ならば 腰につけたならば
- 190 ラボッケ オラ トウムコロパ ナンコロ ナ
 rapokke ora tumkorpa nankor na
 そのうちに こんど 力が出る だろう よ そのうちに力が出るだろう」
- セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら と言って
- ネ セタ ライケ ヒネ
 ne seta rayke hine
 その 犬 殺し て その犬を殺して
- ポネヘ ウンノ イセレ ヒネ
 ponehe unno i=sere hine
 骨 まで (私に)背負わせ て 骨まで私に背負わせてくれました。
- アエヤイコプンテク
 a=eyaykopuntek
 (私)喜ぶ 私は喜んで
- 195 アコオンカミ ア アコオンカミ ア
 a=koonkami a a=koonkami a
 (私)に何度も拝礼をする 何度も拝礼をして
- コロ オラ エカン。
 kor ora ek=an.
 ながら こんど 来る(私) 村に帰って来ました。
- アコロ ヘカチ カ
 a=kor hekaci ka
 (私)の 男の子 も 私の息子も
- タネ ヤイランペウテク イ カ
 tane yayrampewtek _hi ka
 もう 正気を失う こと も もう正気を失っていたのも

ピリカ プ ネ クス
pirka p ne kusu
良くなる もの だ から

良くなったので

200 オラノ アラキアン ヒネ
orano arki=an hine
そして 来る(私) して

村に帰って来ました。

タネ アコタヌ タ エカニ オラ
tane a=kotanu ta ek=an_hi ora
もう (私の)村 に 来る(私) して から

私の村に着くと

ナニ ネア セタ カム アスパ ヒネ
nani nea seta kam a=supa hine
すぐ その 犬 肉 (私)煮 て

すぐにあの犬の肉を煮て

オラ コタン エピッタ
ora kotan epitta
こんど 村 みんな

村じゅうの

アウタリ アタク ワ アラキ。
a=utari a=tak wa arki.
(私の)村人 (私)呼ん で 来る

人を招きました。

205 エパ ウタラ アナクネ アラキパ ワ
epa utar anakne arkipa wa
着く 人達 は 来 て

来ることができる人達は来て

ネ カミヒ エパ ネ ヤ
ne kamihi epa ne ya
その 肉 食べる だ とか

その肉を食べたり

ルリヒ アラキパ コヤイクシ ウタラ
rurihi arkipa koyaykus utar
汁 来る ことができない 人達

来るのが難しい人達には

コイヤンパ ネ ヤ キ コロ
koyyanpa ne ya ki kor
持って行く だ とか し ながら

汁を持って行ってあげたりして

ネノ トウツコ レレコ オカアン ワ
nenno tutko rerko oka=an wa
そのように 2日 3日 暮らす(私) して

2、3日過ぎました。

210 オラ ネ ポネヘ ネ ヤツカ
ora ne ponehe ne yakka
こんど その 骨 であっても

その骨を

アウフイカ ネ ヤ キ ワ
a=uhuyka ne ya ki wa
(私)燃やす だ とか し て

燃やして

トウムサク ケウオロサクパ ウタラ エウン
tumsak keworsakpa utar eun
力のない 力を失う 人達 に

元気のない人達のところに

コロ ワ パイエパ ワ
kor wa payepa wa
持つ て 行っ て

持って行って

キロウシ コタチパ ネ ヤ キ コロ
kirousi kotacipa ne ya ki kor
腰 につける だ とか し ながら

腰につけたり

215 オカアン アイネ
oka=an ayne
いる(私) うちに

していると

ラポッケ アコタヌ ウタラ カ トウムコロパ
rapokke a=kotanu utar ka tumkorpa
そのうちに (私の)村の 人達 も 力がつく

そのうちに村の人達も力がついた

ヤク イエパ コロ
yak yepa kor
と 言い ながら

と言って

アエウコヤイコブンテク コロ オカアン
a=eukoyaykopuntek kor oka=an
(私)互いに喜び ながら いる(私)

互いに喜びました。

ラポッケ エキムネパ コロ
rapokke ekimnepa kor
そのうちに 山獵に行く と

それからしばらくして山獵に行くと

220 オラノ エアシリ
orano easir
こんど 本当に

本当に

イセポ カ チロンヌプ カ ライケ ワ
isepo ka cironnup ka rayke wa
ウサギ も キツネ も とっ て

ウサギやキツネがとれて

コロ ワ アラキパ コロ
kor wa arkipa kor
持つ て 来る と

持ち帰り

オラノ アエヤイコブンテク コロ
orano a=eyaykopuntek kor
そして (私)喜び ながら

喜びました。

アウタリ トウラノ
a=utari turano
(私の)村人 と一緒に

村人と

225 ネ チロンヌプ カム ネ ヤ
ne cironnup kam ne ya
その キツネ 肉 だ とか

そのキツネの肉や

イセポ カム ネ ヤ
isepo kam ne ya
ウサギ 肉 だ とか

ウサギの肉を

アウコウサライエ ワ アエ コロ
a=ukousaraye wa a=e kor
(私)分け合っ て (私達)食べ ながら

分け合って食べて

オカアン ラポッケ オラ
oka=an rapokke ora
暮らす(私) そのうちに こんど

いました。

アウタリ トウムコロパ エキムネパ アクス
a=utari tumkorpa ekimnepa akusu
(私の)村人 力がつく 山猟に行く ところ

村人も元気になって山猟に行くと

230 オラ エアシリ ユク カ カムイ カ
ora easir yuk ka kamuy ka
こんど 初めて シカ も クマ も

シカやクマを

ロンヌパ ヤク イエパ コロ
ronnupa yak yepa kor
とる と 言い ながら

とったと言って

コロ ワ イワクパ ワ オラノ
kor wa iwakpa wa orano
持つ て 帰っ て そして

持ち帰り

アエヤイコプンテク コロ オカアン。
a=eyaykopuntek kor oka=an.
(私)喜び ながら 暮らす(私)

喜びました。

オロワノ エアシリ アコタヌ タ
orowano easir a=kotanu ta
それから 初めて (私の)村 で

そうになってからは私の村では

235 ユク ネ ヤツカ カムイ ネ ヤツカ
yuk ne yakka kamuy ne yakka
シカ で も クマ で も

シカやクマを

アウタリ ライケ ワ コロ ワ イワクパ ランケ
a=utari rayke wa kor wa iwakpa ranke
(私の)村人 とっ て 持つ て 帰る 何度も

村人がとって持ち帰るようになりました。

チロンヌプ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
cironnup ne yakka nep ne yakka
キツネ で も 何 で も

キツネでも何でも

オロ ワノ アナクネ
oro wano anakne
それ から は

それからは

アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
a=esirkirap ka somo ki no
(私)苦勞する も しない で

何を苦勞することもなく猟ができ

240 アコタヌ ヘプニ プ ネ ワ
a=kotanu hepuni p ne wa
(私の)村 復興する もの になっ て

村が復興し

アエヤイコブンテク コロ オカアン
a=eyaykopuntek kor oka=an
(私)喜び ながら 暮らす(私)

喜んで暮らしました。

ラポッケ アポ ウタリ カ ルプネ
rapokke a=po utari ka rupne
そのうちに (私の)子 たち も 大きくなる

そのうちに子ども達も大きく

アコタヌン ウタラ カ ピリカ ス… キパ ワ
a=kotanu un utar ka pirka su... kipa wa
(私の)村 の 人達 も 良く し て

村人達も元気になり

ピリカ コタン ネ オカアン ワ
pirka kotan ne oka=an wa
良い 村 に 暮らす(私) して

良い村になって

オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
年を取る(私) もの だっ たところ

私も年を取りました。

245 ピラトウルン エカシ アン クシケライポ
piratur un ekasi an kuskeraypo
平取 の 老人 いた おかげで

平取のおじいさんがいたおかげで

アウタリ トウラノ シクヌアン ペ ネ アクス
a=utari turano siknu=an pe ne akusu
(私の)村 と一緒に 生きる(私) もの だっ たところ

村人と一緒に生きているのです。

イカン クナク ピラトウルン
ikan kunak piratur un
決して 平取 の

平取の

ウタッ トウラノ ウコ… ウコウェウトウムコロ¹⁵
utar_ turano uko... ukowewtumkor
人達 と一緒に 悪い心を持つ？

人達と

ウコウェイサンペコロパ ソモ キ ノ
ukowaysanpekorpa somo ki no
互いに悪い心を持つ しない で

互いに悪い心を持つことなく

250 ウコパヨカパ ヤク ピリカ ナ
ukopayokapa yak pirka na
互いに行き来する と いい よ

仲良く行き来しなさい

セコロ フレナイ¹⁶ ウン ニシパ
sekor hurenay un nispa
と フレナイ の 長者

とフレナイの旦那さんが

イソイタク セコン ネ。
isoytak sekor_ ne.
物語る と さ

物語りました。

15 ウコウェンケウトウムコロ ukowenkewtumkor (互いに悪い心を持つ) と言おうとしたのだろう。

16 話の冒頭に出て来たタンネサルを現地名で言い直したもの。フレ hure (赤い)・ナイ nay (川)。

